

行政の考えを問う



藤 伸一 議員

小中学校にICT環境整備の推進を図るべきと考えるが……………12P

石原 浩二 議員

嘉麻赤十字病院存続支援についての認識は……………12P

中嶋 廣東 議員

民家へ出没するイノシシ・シカ等の駆除は……………13P

中嶋 時夫 議員

新庁舎周辺地区は3 mから5 mの洪水浸水想定区域だ……………13P

田中 義幸 議員

学校はブラック企業だ……………14P

畠中 博文 議員

「バス来る嘉麻」の停留所に屋根の設置予定はあるか……………14P

田上 孝樹 議員

児童虐待根絶に向けた強化の取り組みは……………15P

中村 春夫 議員

国土交通省の大型ダンプカーは何を搬入しているか……………15P

豊田 一元 議員

財政計画の将来に向けた健全化施策は……………16P

出水 貴之 議員

防災ラジオの導入についての見解は……………16P



紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。



石原 浩二 議員



問 嘉麻赤十字病院存続支援についての認識は

答 今後とも支援を行っていく

質 市は、嘉麻赤十字病院の存続の重要性をどのように認識しているか。

長岡社会福祉課長 市の地域医療において、山田地区のみならず、市南部の地域医療の拠点でもある。また、高齢者や人口減少が進んでいる現状を考えると、地域にとってなくてはならない医療機関と認識している。

質 嘉麻赤十字病院に対し、どのような支援

を行っているのか。

社会福祉課長 旧山田市時代から施設整備や移転に伴う建設費等を補助し、平成25年度以降は診療体制の充実による安定した医療を提供してもらっている。

また、医療機器の更新費用や医師を確保するための経費として、1500万円の補助金を交付している。

質 新聞報道では厚生労働省が、嘉麻赤十字病院を含む5施設の病

院を再編統合の検討対象としているが、市の考えは。

石松福祉事務所長 厚生労働省が地域の事情を全く踏まえず、機械的に分析を行い、医療機関等の実名を公表した。事前に何の説明もなく唐突に公表されたことで、再編統合されるのではと市民が不安を抱いている。しかし、国は、再編統合を強制するものではなく、県内で二次保健医療機関

ごとに設置している地域医療構想調整会議で議論し、地域が出した結果について支援するとしている。本市でも飯塚保健医療圏飯塚区域の地域医療構想調整会議の中で十分検討していく。

赤間市長 今後も現行の施設改修や医療機器の整備等もできる限り嘉麻赤十字病院とも協議を重ね、市としてできる範囲の支援を行う。また、活用できる有利



な財源等も調査していく。 ※他に児童虐待、家庭内暴力の対応を質問。

藤 伸一 議員



問 小中学校に ICT 環境整備の推進を図るべきと考えるが

答 年次計画に基づき、機器の整備をしていく

質 嘉麻市の学校現場での ICT の現在の整備状況は。

柴田学校教育課長 学習用パソコンは1台当たり3・2人で使っている。電子黒板を各学校に1台ずつ配置しており、超高速インターネットの接続が、全ての学校に整備完了している。

質 来年度から、小学校の「プログラミング教育」が必修になる。児童・生徒に1人1台

のパソコンやタブレットを配置することが盛り込まれた国の「未来を拓く総合経済対策」を活用して、学校現場における ICT の推進を図るべきと考えるが。

赤間市長 国の示す整備方針に基づき、財政部局と協議しながら、整備を行っていく。

質 ワクチン再接種の助成の考えは

質 治療のため、造血細胞移植を行った場合、定期予防接種により獲

得した免疫が低下し、感染症にかかりやすくなる。再接種の費用は被接種者の全額負担となっているが、助成を行っている他の自治体は。

北富子育て支援課長 福岡県内では、福岡市・春日市・古賀市・宇美町・須恵町・広川町の6市町が実施している。

質 経済的な負担軽減のためにも、助成制度の検討は必要と考えるが。

子育て支援課長 感染リスクや感染の拡大を防止するためにも、検討は必要であり、他自治体の取り組みを調査研究し、検討する。

市長 再接種の助成は必要と考えている。導入自治体の内容等を調査・研究し、検討していく。 ※他にいじめ等の相談体制を質問。



中嶋 時夫 議員



問 新庁舎周辺地区は3mから5mの洪水浸水想定区域だ

答 防災マップで災害対策に必要な知識、準備、心得等を啓発していく

質 昨年の西日本豪雨では、24時間雨量の最大値が軒並み更新し、河川堤防が壊れる可能性があった。遠賀川の水害対策は大丈夫か。

大野防災対策課長 防災・減災、強靱化3か年緊急対策で、堤防整備や河道掘削などの河川改修工事が実施されていると聞いている。

質 東日本の台風等の豪雨は、国土強靱化対策の対象外で、河川の堤防決壊や越水が同時

多発的に起きた。新庁舎周辺地区の水害を想定したソフト面とハード面において対策が必要ではないか。

防災対策課長 市は、避難情報を適切に発令するので、新防災マップを見て避難所や避難ルートを確認してもらいたい。

質 地球温暖化で堤防決壊はどこで起きてもおかしくはない。この防災マップでは、新庁舎周辺地域は3mから

5mの洪水浸水想定区域であり、河岸は浸食箇所だ。新宮前橋・田中橋区域は氾濫想定区域にもなっている。岩崎地区の水害リスクに對する備えは。

防災対策課長 防災マップを活用し、災害対応に必要な知識、準備、心得等を啓発していく。

質 稲築地区の自主防災組織は。

防災対策課長 市全体では13団体で、稲築地区は1団体だ。

質 自主防災が進まない中で、災害に対するリスク回避のための訓練や点検を住民に周知させ、避難行動要支援者を含めた個別避難計画の見直しが必要ではないか。

防災対策課長 全市民を支援することはできない。自分の命は自分で守るという意識は重要だ。避難に支援を要する者の名簿を作成し、安否確認や避難所等への移送を行うことにし



西岩崎地区の浸水状況

ている。個別計画も作成中だ。
※他に人権施策（LGBT）、子どもの貧困対策基本計画の推進、会計年度任用職員制度の運用を質問。

中嶋 廣東 議員



問 民家へ出没するイノシシ・シカ等の駆除は

答 被害を抑えるべく対策を強化したい

質 イノシシ・シカ等の駆除の実態は。

井桁農林振興課長 29年度1907頭、30年度1844頭、元年度（11月末）1805頭。

質 猟友会の会員数と年齢は。

農林振興課長 69名で、25歳から85歳である。

質 狩猟免許取得助成金のPRを願いたい。

民家周辺へのイノシシ・シカ等の出没の相談内容、件数、地区は。

農林振興課長 個人数

地内への侵入は、29年度27件、30年度37件、元年度11月末73件で、多くの地区で出没している。

質 民家周辺での出没は、高齢者や子どもたちに危険を及ぼすが対策は。

農林振興課長 鳥獣被害対策実施隊に箱罠設置の要望を行っている。

質 市への相談も増えている。被害が出てからでは遅いため何らかの手を施す必要がある。

農林振興課長 被害を抑えるべく関係各課と協力していく。

質 ワイヤーマッシュの民家への設置はできないが、罠の設置は可能であるため1日も早い対応策を願いたい。

赤間市長 被害を抑えるべく対策を強化する。

学力向上のための環境整備

質 全国学力・学習状況調査の目的は。

大森学校教育課参事 教育指導の充実や学習

状況の改善等に役立てるため。

質 勉強についていけず登校拒否する子はいないか。

学校教育課参事 実態調査はしていないが、個別指導を細かく行うよう指導している。

質 家庭の貧困は深刻であると思うがどうか。

学校教育課参事 要保護・準用保護合わせて小中合計で47%と高い。

質 貧困問題の解消・登校拒否の児童生徒の



解消に向けての教育長の決意は。

木本教育長 50名程の不登校児童生徒がいる。学力的にも課題が残る。課題克服のため取り組みを強化したい。

畠中 博文 議員



問 「バス来る嘉麻」の停留所に屋根の設置予定はあるか

答 令和2年3月までに設置予定

質 バスステーション「バス来る嘉麻」の停留所に屋根がなく乗降中、雨に濡れると聞くが設置予定はあるか。
小林地域活性推進課長 令和2年3月までに設置を予定している。
質 西鉄バスと市バスでバス停が2カ所ある。利便性からすると1カ所で良いのではないか。
地域活性推進課長 来

年4月以降「バス来る嘉麻」への進入車両が増える予定。また、西鉄バス会社より乗降の円滑性のため一定の距離を開けるよう要望がある。
質 施設内のテナント運営はどのように行うか。
地域活性推進課長 公募等による誘致を考えている。
質 施設内の中央スペースの活用計画は。
地域活性推進課長 嘉麻市の紹介やPR物の展示、事務所としての活用等も踏まえ、様

々な可能性を検討している。
農泊施設「カホアルペ」 質 進捗状況はどうなっているのか。
篠崎産業振興課長 令和2年4月末オープン予定。宿泊内容は、宿泊のみで食事はなし。1部屋に2段ベッド2台、料金は3000円を考えている。
質 カホアルペのコンサルティング料はいくらか。
産業振興課長 平成29

年、30年で約950万円。
質 指定管理者、委託業者へのアプローチは行っているか。
産業振興課長 指定管理者5社、委託業者1社との協議を行った。
質 当初の計画を大幅に変更した理由は。
赤間市長 災害等により多額の経費がかかっている。また、カホアルペは公益事業ではなく収益事業だ。施設の設備等々も含めサービ



ス水準は二の次に考えたい。

田中 義幸 議員



問 学校はブラック企業だ

答 超勤を減らす努力をする

質 教職員の労働管理は、労働基準法ではなく給特法で管理されている。実態として月間残業時間が100時間を超える教師もいる。学校はブラック企業だ。元凶である「給特法」を廃止し、労働基準法が適用できるよう改善すべきだ。
木本教育長 社会問題化している。超勤を減らす努力をする。
質 教職員の採用条件 非正規教職員の採

用状況を問う。
柴田学校教育課長 少人数指導特別教員は、21名。学級担任になるので任期付き任用職員で採用する。会計年度任用職員は、全てパートタイム。用務員11名、学校司書11名、図書整理員2名、特別教育支援員・介助員25名、特別支援教育補助教員13名、補導教員1名、栄養教諭1名、放課後対策指導員2名を採用する。

大災害時の受援計画 質 大災害が発生した時、ボランティア等受入れのため受援計画を作っている自治体は県内に何カ所あるか。
大野防災対策課長 60市町村中16団体だ。
質 嘉麻市の受援計画はどうする。
防災対策課長 出来るだけ早期に策定する。
国保税の資産割は 質 国民健康保険税算定で資産割を採用している県内状況は、どう

なっているか。
野川市民課長 60団体中、嘉麻市を含め10団体だ。
質 資産割を外した場合の保険税はどうなる。
市民課長 応益割である均等割、平等割が高くなる。
質 資産割をどうする。
市民課長 国保協議会から資産割廃止の答申を受けている。しかし、累積赤字や本年度納付金が1億3000万円増加しているので、更



に検証する必要がある。※他に不登校児童生徒対策、旧鴨生駅前緑地整備、自殺対策を質問。

中村 春夫 議員



問 国土交通省の大型ダンプカーは何を搬入しているか

答 朝倉地区の災害の土砂を搬入している

質 熊ヶ畑で見かける国土交通省の大型ダンプカーは何を搬入しているか。

溝口環境課長 朝倉地区の災害の土砂を百々谷最終処分場の覆土のために搬入している。これにより停滞していた百々谷最終処分場の覆土、埋立工事の進展に繋がる。また、地区の湧水対策及び下流側への災害防除対策として隣接市有地を業者に払い下げ、一体的な整備を進めている。

質 熊ヶ畑地区の不法投棄問題のその後は。

環境課長 国、県、市の協議の結果、ミニ処分場と捉え、旧山田高校裏の災害復旧の土砂を利用して処分場の覆土を9月で終えている。残る焼却灰、廃タイヤについては今後県と協議を続けて行く。

質 百々谷中間処分場での搬出の状況は。

環境課長 平成30年5月30日から令和元年11

月30日までの間に撤去された産業廃棄物の量は排出業者20社による約5千tである。今後の予定は排出事業者12社による約2万3千tである。また、業者が熊ヶ畑の私有地に山積みしている物を県に確認したところ、有価物である塩ビ管の仮置き場であり、県としては適正な管理を指導し今後も廃棄物が搬入されないように監視するとの事。

質 熊ヶ畑最終処分場のその後は。

環境課長 現在2期目の埋め立を行っている。8月23日に法人名称の変更届が出された。8月に立ち入り調査を行ったが報告書は作っていない。

質 産廃場と市有地との境界の問題は。

石坂管財課長 事業者の所有地内に嘉麻市の水道管が埋設されている問題は、同等面積を売買することで同意が



でき、現在分筆測量等を終え契約事務を進めている。作業は全て本年度内に完了できる見込みである。

田上 孝樹 議員



問 児童虐待根絶に向けた強化の取り組みは

答 未然防止、早期発見と切れ目のない対応が重要

質 児童虐待相談件数は、2018年度は15万件を超えており前年度より2万件以上も増えている。嘉麻市の状況は。

北富子育て支援課長 本年度は10月までに相談が93件。そのうち虐待相談として対応した件数が19件であり、増えている状況である。相談窓口については。

子育て支援課長 本年度、子育て支援センター

ー設置とともに発足した子育て支援課になる。厚労省では、毎年11月を児童虐待防止推進月間と定め、種々取り組みを実施している。本市でも啓発活動など実施しているが、嘉麻市独自の取り組みとして、生活環境が大きく変わる家庭もあるとの観点から、年度変わりの後の5月に推進月間を加えてはどうか。

子育て支援課長 年度当初の啓発活動を充実

させていくことは、児童虐待問題の関心と理解を促すうえで有効であると考ええる。関係課とも協議しながら検討していきたい。

質 児童相談所、全国共通ダイヤル189（いちちはやく）が12月から固定・携帯電話の通話料が無料になった。ポスター形式の周知や名刺サイズにして、児童生徒などに配布して周知を図ってはどうか。

子育て支援課長 今後

も学校教育課や男女共同参画推進課と協議し、啓発が充実するよう考えていきたい。

質 子どもを守るため、子どもの安全確保を最優先として、児童虐待防止根絶に向けた強化の取り組みについては。

赤間市長 関係機関と連携して、未然防止、早期発見、早期対応と切れ目のない対応に努めることが重要である。深い関心と理解を促進させ、児童虐待防止に



努めていきたい。
※他に高齢者の交通事故防止策を質問。

出水 貴之 議員

問 防災ラジオの導入についての見解は

答 防災ラジオは有効と考えるため検討したい



質 防災行政無線が「聞こえない」「聞き取れない」「何を言っているのかわからない」と苦情がある。市内の防災無線のカバー率は何%になるのか。

大野防災対策課長 机上では100%になっている。

質 建物内での受信に強いポケベルの電波を使った「防災ラジオ」の導入が、全国の自治体で進んでいる。リアルタイムで放送を聞き

逃した場合でも、後で何回でも再生ができ、通信料はかからない。普段は、通常のラジオと同じように使える。この防災ラジオの導入についての見解は。

防災対策課長 スピーカーからの音声が大、雨等の気象状況や建物の構造等により、屋内まで聞こえないという課題を解決するためにも、防災ラジオは有効と考える。運用方法や費用対効果などを考慮

し、検討したい。

赤間市長 防災行政無線やメール等で、避難勧告等を迅速に市民に伝えることは、命を守るための第一歩と認識している。確実に情報伝達するための最適な方法や組み合わせを検討したい。

総合バスステーション **質** 総合バスステーション（バス来る嘉麻）の利用者状況はどのようになっているか。

地域活性化推進課長 様々な利活用のイメージをしながら、利便性を高め、多くの人に利用

現状プレオープンで、詳細な把握はまだできていない。今後は分析等していきたい。

質 隣接する馬古屏で売れ残った商品を、タ市という形で販売すれば、賑わいの創出になるのではないかと。施設の活用について、どのような考えを持っているか。



してもらいたいと思っている。様々な可能性を検討したい。

※他に地域おこし協力隊の追加募集を質問

豊田 一元 議員

問 財政計画の将来に向けた健全化施策は

答 第3次行政改革の確実な取組と財政改善を行っていく



質 市の財政力指数は県下での位置か。

大村企画財政課長 平成29年度0.27で県内最下位。

質 財政の柔軟性を示す経常収支比率は。

企画財政課長 合併直後は100を超えていたが、27年度には92.4まで改善した。これ以降悪化傾向で財政の硬直化が進んでいる。

質 第2次総合計画の目標達成が厳しいが、どうするのか。

企画財政課長 市有財産の積極的売却、基金の効率的運用、ふるさと納税の推進などに取組み、移住・定住の促進、企業誘致を進め担税力を高めていく。

質 普通交付税の合併優遇措置が段階的に縮小され、令和3年には平成27年比で6億円の減収となる。歳出から見た第3次行政改革の取り組みは。

企画財政課長 歳出減のため職員定数の適正

化、業務の民間委託による人材確保等に係る間接コストの低減、情報通信やAI技術を活用した業務の効率化を行う。

質 正規職員数を令和9年までに350名とする計画となっている。この計画の達成度と今後の計画は。

平川人事秘書課長 平成25年429名で31年は397名である。今後は、さらに業務の効率化や民間委託を進め

る。また、本庁舎一本化による組織再編も有効と考える。

質 法改正による会計年度任用職員制度は人件費にどう影響するのか。

人事秘書課長 予算の精査がされてないので人件費への影響額は未定である。

質 交付税優遇措置の段階的縮減による歳入減、庁舎建設、小中一体型校3校の建設などによる財政負担で赤字財



政となることはないか。

企画財政課長 現状を踏まえ財政計画の見直しを行い健全な運営見通しを示したい。

※他に職員数削減に伴う人材育成計画を質問。